

西山公園インクルーシブ公園ワークショップ報告会 議事概要

開催概要

- 開催日時：令和4年10月9日（日）14:00-15:00
- 開催場所：長岡京市中央図書館 大会議室
- 参加人数：12名
- 内容：1. 開会の挨拶
2. 第2回ワークショップまでのまとめ
3. 「いつでもだれでもみんなが憩い楽しめる公園づくり」整備指針（案）の説明
4. 配水池跡広場計画案の説明
5. 質疑応答
6. 閉会の挨拶

1. 開会の挨拶

開会の挨拶と本日の報告会の趣旨について説明を行いました。

2. 第2回ワークショップまでのまとめ

配水池跡広場ワークショップの成果とご意見を振り返りました。

3. 「いつでもだれでもみんなが憩い楽しめる公園づくり」整備指針（案）の説明

配水池跡広場ワークショップの成果を長岡京市の公園づくりに展開するべく、整備指針（案）の説明を行いました。

4. 配水池跡広場計画案の説明

ワークショップの成果を踏まえ、配水池跡広場のコンセプトと計画平面図と施設イメージについて説明を行いました。

インクルーシブ公園報告会資料 ～西山公園・配水池跡広場計画案～

<西山公園・配水池跡広場計画>

多様な個性をもった人たちが一緒に遊べるインクルーシブ遊具を整備＝「みんなで遊べる遊具」
日よけや雨よけの休憩所や大きな木の整備＝「雨の日でも暑い日でも利用できる広場」
公園安全柵やベンチで遊具を囲む見守り、交流する施設整備＝「見守る、教える、交流する仕掛け」
緑の原っぱや大きな木、四季を感じる草花、花壇を整備＝「花や自然とふれあう空間」
汚水マンホールトイレ、かまどベンチの整備＝「災害時の一時避難場所」

みんなで遊べる遊具

みんなで協力しながら遊ぶことができる回転するベンチ型遊具を配置します。

車いすでも一緒に遊ぶことができる回転と手洗い・足洗いをあわせて配置します。

雨の日でも暑い日でも利用できる広場

タープの設置により小雨の時や日差しが強い日でも遊ぶことができる場所を作ります。

花や自然とふれあう空間

菜園用に花壇を配置し、夏野菜を育て、周辺に生息する虫や蝶が観察できるよう仕込むことが出来るように植物を育て、花や朝水を集めて取り入れます。観察を行います。

災害時の一時避難場所

災害時に炊飯の場として利用できるかまどベンチを広場周辺に配置します。

見守る、教える、交流する仕掛け

交流広場には自由に動かすことができるベンチやテーブルを設置し、ワークショップでの観察やイベント時の広場配置を可能にします。

5. 質疑応答

1) 広場の舗装について

【質問】石張の舗装はベビーカーや車イス、足の不自由な高齢者にとっては非常に歩行しにくい。またブロックの舗装でもガタガタとした場所があり同様である。ちょっとした段差も危険であるので配慮してほしい。

【回答】広場内にはキッチンカーや管理車両の乗り入れ等を想定しているため舗装には一定の強度が必要であるため舗装材の制限がありますが、車イス対応の段差が出来にくい舗装や滑り止め加工の採用を検討していきます。

2) 点字ブロックについて

【質問】視覚障害者にとって非常に便利な点字ブロックは、ベビーカーや高齢者にとっては段差ができたりガタガタが生じるなど非常に不便な物である。その配置については今後一緒に考える機会をもうけていただきたい。

【回答】西山天王山の駅前や高架の下の公園整備で視覚障害者の方々に実際にアドバイスを求めたこともあり、西山公園でも同じようにご意見を伺いたいと考えています。

3) かまどベンチについて

【質問】長岡京市内でかまどベンチを使った訓練を行ったことがあるが、焚き口が大きいため非常に効率が悪くお湯を沸かすだけでも時間を要した。炊き出しに効率の良い備品を倉庫に備蓄する方法でも良いのではないか。

【回答】かまどベンチの仕様や炊き出し用の備品についてはご意見を参考に詳細設計で検討します。

4) 広場内のみまもりについて

【質問】昨今では子どもの行方不明ということもあるので竹藪へは行けないようにするとか、出入り口を絞るなど対応を配慮してほしい。

【回答】広場には外周柵を設置し樹林地や竹林への侵入を防止するとともに、道路沿いには花壇を設置し飛び出しに配慮しています。

5) 生きもののふれあい空間について

【質問】京都府では「環の公共事業ガイドライン」を作成しており、設計に先立って生物調査を実施したり、有識者に意見を伺った上で設計に反映するという仕組みがある。市の事業で全てを対象にするのは難しいだろうが、活動団体の知恵を使う、地域の専門家の意見をもらうというのを設計前に行ってはどうか。

【回答】今後、活動団体の意見を踏まえながら詳細設計を進めていきたいと考えておりますので、気づいた点などアドバイスを今後お願いしたい。

6) 整備指針（案）の適用範囲について

【質問】「いつでもだれでもみんなが憩い楽しめる公園づくり」整備指針（案）は市内の全公園を対象にするのか。

【回答】市内の公園を一気にとなると膨大な予算が必要であり、利用頻度が少ない公園まで改修するとなると費用対効果という観点から非常に厳しい事態となります。

現在検討しているのは、ある程度規模があって利用者の多い公園を対象として、校区単位などを参考に10箇所程度の公園への適用を当面の目標としたいと考えています。

6. 閉会の挨拶

閉会の挨拶と広場整備や指針について今後ともご意見を頂戴したく気軽に連絡をいただきたい旨をお伝えしました。